

家庭紙協同組合が 公害防止で表彰

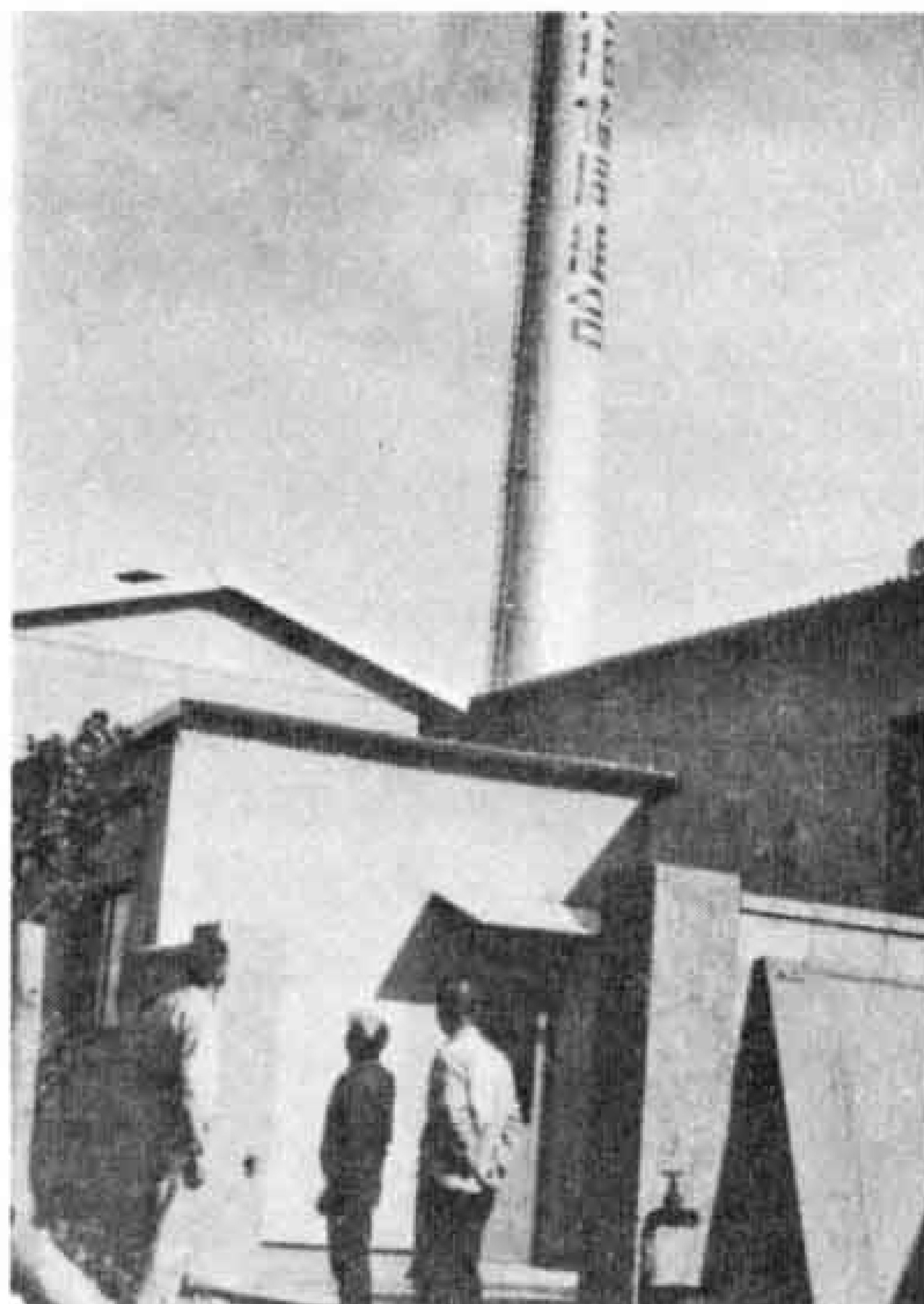
…東京通商産業局長
から12月17日に受賞…

富士家庭紙協同組合(白井誠一理事長)が、12月17日、熱管理に努力してきたことが認められ、東京通商産業局長表彰を受けました。こんど表彰されたのは全国でわずか9社で、県下では同組合だけです。

富士家庭紙協同組合は、三幸製紙、井出紙業、映光製紙、一幸商事の4社が公害防止と経営の合理化をはかるため、43年9月に設立されました。この組合は水かん式パッケージボイラーを共同で設置した。それまで4社で日量約20トンの重油を使用していたのが、日量8トンで済むようになりました。これによつて経費の節約はもとより、亜硫酸ガスなどの排出量が少なくなるなど、公害防止に大きな役割をはたしています。

白井誠一理事長は「まさか表彰されるとは思いませんでした。市が公害防止に

前向きに対処しているのです、公害追放にわたしたち企業もできるかぎり協力していかなければならないと思います。今度の表彰を機会に、公害防止になお一層の努力をしていきます。」と受彰の喜びを語っていました。



【公害防止、熱管理で表彰された
富士家庭紙協同組合】

内職の就職、求人 あつせんします

…相談は市商工課へ…

さいきん、内職就職者、内職希望者が年ごとに多くなっています。

このため、公共職業安定所および市商工課、商工会議所、商工会では働きたい人、パートタイマーを求めている人にあつせん業務を行なっています。

余暇を活用して働きたい人、パート部門を開設して人を求めている事業所は気軽に相談におでかけください。

相談窓口は次のとおりです。

- ・富士公共職業安定所(電話51-2151)
- ・市商工課(富士事務所 電61-2300)
- ・富士商工会議所(電話52-0995)
- ・商工会議所富士支所(電話61-4055)
- ・鷹岡商工会(電話71-2358)

なお、相談は公共職業安定所が毎日ですが、そのほかは毎週火曜日と金曜日です。料金は無料です。また、一度登録をしておけば電話でも相談に応じますのでご利用ください。

今と昔

今と昔

富士登山 ⑩

写真左は江戸時代の画家、葛飾北斎の「富嶽三十六景」の登山の絵です。

その頃の人々は富士山に登るときは、身を清め、白衣に身をかため「六根清浄」を唱えながら険しい山道を極めていました

写真右は現在の登山風景です。五合目まで自動車で行くレクリエーション的な登山と、昔の登山と意義や観念がまったく違っています。

古代の人たちは富士山を「火の神」としてあがめてきました。そして高い山を「神」とする山岳信仰が生まれました。奈良時代になると仏教が伝わり、山岳宗教が発達し、山に登る

ことによつて神や仏に近付いたり、一体になることができると考えられるようになりました。

平安時代になつて「末代」という僧が山頂に大日如来を祀り、ますます修験道として栄えました。室町時代になると、一般の人たちも富士道者として登山するようになりました。さらに江戸時代になると「富士講」がつくられ、登山者の数も増えました。そのため、表口である吉原湊(現在の田子の浦港)はたいへんにぎわつたと伝えられています。

(鈴木富男稿)

